

### 「佐倉？桜？」

初めての土地での仕事では、地名覚えて土地勘を養うことが重要なことの一つにあげられます。とはいえ地図を眺めて覚える訳でもなく、取材で回っていくなかで自然と覚えていきます。ただ、近年感じるのは、スマートフォンの案内で移動すると、一度で道のりを覚えられないこと。気をつけたいですね。

さて、角田に来て気になった地名があります。「佐倉」です。住所では佐倉ですが、郵便局や小学校などは「桜」。せっかくなら地名も「桜」でもいいのでは？などと思い、弊紙のデータベースで由来を調べてみました。

ヒットしたのは2006年8月の紙面に載った「とうほく地名の泉」。記事によると「江戸時代の「安永風土記」には、1330年代の建武年間のころ、吉野五郎という人が住んでいた。吉野は桜の名所であることから村名を『桜』と言ったが、いつのころからか佐倉になったとある」と書いています。そして「サクラのサは接頭語で、クラはクレあるいはクエの転訛（てんか）で崩れること。古くは、阿武隈川の氾濫や浸食がたびたびあったのだろう」と続けています。

なるほど、当初は桜だったようです。もう少し調べてみようかと、先日、図書館で桜小学校の創立100年記念誌「さくら」を借りてきました。

要約となりますが「13代成務天皇が勢力を地方の末端まで及ぶように征定の地を144の国に分けた。現在の仙南地方一帯を『以久（または伊久）の国』と呼び、国府の所在地として比較的土壌の高燥なこの『佐久良』が選ばれた」と書かれています。

吉野五郎が桜と名付けるはるか昔から、この地域に「さくら」という地名が存在しているようです。由来探しは振り出しに戻ってしまった一、と考えていると、記念誌には以下の考察が書かれていました。以下原文ママ。

「大和朝廷の時代、大和文化を持つ民がこの地にやって来た際、おそらく福島の方から

阿武隈の水路を利用して来たにちがいない。『サクラ』の『サ』はそのときの川を下ってきて『左』の『サ』、『クラ』は人の住むによい高い所合わせて『サクラ』と呼んだのではなかろうか」

「やがて文字で『佐久良』と書かれるようになったが、やがて近郷の桜の名所として知られるようになったこの地は、吉野城や吉野五郎の名のもとになった奈良の吉野も桜の名所であることから、同音の“桜”の文字で書かれるようになりさらに『佐倉』の文字が使われるようになった。『佐倉』の文字になったのは、江戸前期の下総国佐倉領の義民佐倉宗五郎の話が歌舞伎劇で有名になってから後のことであろうと思われる」

ストーンとふに落ちました。たった一つの地名でも、歴史的背景を知ると、次に訪問する際の感じ方も変わる気がします。では、そもそも「角田」の由来は。こちらは記念誌と一緒に借りた角田史談会の

「身の周りの歴史／第九号」に考察がありました。内容は…少し長くなりますので、今回はここで失礼させていただきます。

ご興味のある方は、今月から全面再開

した角田市図書館に 佐倉地区にある吉野城跡の石碑 ぜひ足を運んで下さい。



かつて佐久良神社と呼ばれていた諏訪神社

☆皆様からのイベント情報等をお待ちしています。原稿は毎月二十日頃までに、当店へ直接お持ちいただくか、FAXまたはメールにてお送り下さい。

編集発行 河北新報目黒新聞店 〒981-1505 角田市角田字泉町137-2 フリーダイヤル (読むニュース) 0120-46-2004

皆様の元気のお手伝いを 月刊かほくあんふいに

第407号 令和4年7月号 【毎月最終日曜日 発行予定】



### ☆☆当店へアクセス☆☆

mail/super7@sm.rim.or.jp fax/62-0951 メールの場合は「件名」に「あんふいに宛」とご記入の上、「お名前」も続けてご記入下さい。どちらも本文末に、お名前・ご住所・ご連絡先を忘れずにご記入くださいますようお願い申し上げます。ホームページ【http://www.meguro-super7.com】もぜひご覧下さい。

### 編集後記

もう間もなく夏休みですね。県内では早くも気仙沼の大谷海岸の海水浴場がオープンしたと新聞に掲載されておりました。角田周辺では、亘理荒浜の海水浴場が震災後11年ぶりにオープンするということです。嬉しいニュースですね。しかしながら、最近は海や川、用水路、そして山等での子どもたちが犠牲になる痛ましい事件・事故が多発しております。思い出深い楽しい夏休みになるよう、周りで大人が十分に目を光らせ、子どもたちの安全にご配慮いただければと思います。今年の「角田ふるさと夏まつり」は果たして開催されるのでしょうか？もし開催されるのであれば、コロナ以前のような、ノーリミットで楽しさ全開の夏まつりが開催されることを心より願っております。露店関係もたくさん出店になると良いナ～♪ オジサンも楽しみにしております(^\_^)

### 子どもたちの交通事故防止



まだ、交通事故の危険を十分に理解できていない幼い子供たちの『飛び出し』による事故が多発する時期です。通学・通園に慣れていない児童・幼児を交通事故から守りましょう。



- 1. 大人が手本を示しましょう！
- 2. 子どもと一緒に通学路を歩いてみましょう！
- 3. 通学・通園時間帯に街頭指導を！
- 4. 安全な横断ができるように指導しましょう！



# 7月の新聞休刊日は 7月25日(月)です

※7月10日の参院選のため、変更になりました。

※新聞休刊日は事務所も含め、全店休業日とさせていただきます。

テレビ・ラジオ欄は 前日7月24日(日)の 朝刊でご確認ください。



次回「あんふいに」は7月31日(日)発行予定です。